

# Edulution

令和4年度千葉県教育庁教育振興部  
学習指導課CT教育推進室発行  
GIGAスクール通信 vol.4 (R4. 6. 22)

教育 (Education) × 進化 (Evolution) の造語  
「ICT」を効果的に活用することで、  
教育の次なるステップを目指しましょう。

## 【各校の取組】 柏市立土小学校と 県立姉崎高等学校に訪問しました。

今回訪問した柏市立土小学校では、児童は1人1台端末を効果的に活用して学習を進めていました。どの児童も主体的に学習に取り組んでいる姿が印象的でした。学習の様子を紹介します。

### 4年 (総合的な学習の時間)

Googleマップから千葉港周辺の特徴を調べ、プレゼンテーションソフトにまとめる学習。

地図を自由に拡大縮小することで、各自がいろいろな特徴を見つけました。見つけた特徴はメモと一緒にコピーされ、すぐに学級全体で共有していました。



### 5年 (英語科)

デジタル教科書を使い、繰り返し音声聞き取り、正しい発音を学ぶ学習。

学習者用デジタル教科書を使用することで、各自が**自分のペースで正しい発音を練習**することができます。



ICTを利用するだけで満足せず、ねらいとする**児童の資質・能力の向上**にICTが効果的に活用できたかという視点が大切だね!



### 6年 (理科)

付箋機能を活用し、情報共有しながら個々で資料作成することで、効率的に意見交換を行う学習。

効率よく資料を作成、共有することで、**議論や発表の時間が十分確保**できていました。



## とにかくやってみよう

**GIGA環境は教室での学びを大きく変える。**だから文字通り、「大変」。しかし、確実に学びの質が変わることに共感する先生は多い。例えば「Jamboard」等を使うと数分で全員の考えが見える化され、「チーてれ授業動画」を工夫すると2クラス同時授業も可能になり専科制と合わせ効率的に。本校の先生方が使い始めるきっかけは、変わる学びを見て「とにかくやってみよう」から。ハードルを下げた任意参加の「ちよこっと研修」を通じて、得意な先生が苦手な先生に寄り添い、できることを少しずつ増やし「**学びの質が高まる**」を体感したこと。これがじわじわと学びのスタンダードになっていくのです。



柏市立土小学校  
梅津 健志 校長



# BYOD端末の接続研修を実施

端末をBYODネットワークに繋ぐには、端末の安全性確保のため、**二重のセキュリティ**をかける必要があります。

千葉県立姉崎高等学校では、**BYOD端末の接続**に係る研修会を実施しました。先生方は**自分の端末**を手に、生徒になりきって研修に参加しました。

① まず端末の**MACアドレス**を登録します。



② 次に、ネットワーク**証明書**をインストールします。



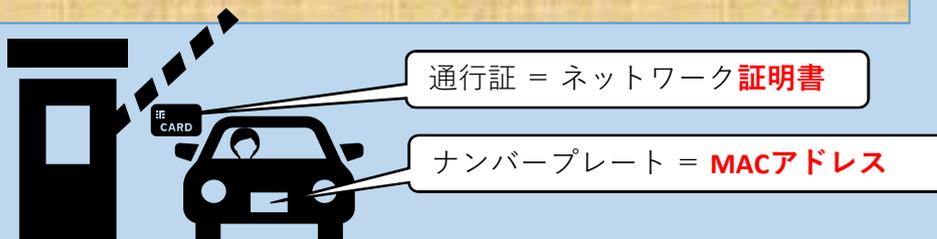
BYOD端末の接続に関してお困りのことはヘルプデスクへご相談ください！

ヘルプデスク連絡先

0120-663-778



## ゲートを通る自動車に例えると



ナンバープレート（**MACアドレス**）を登録してある自動車が、**通行証**（ネットワーク**証明書**）をもって来た場合のみ、ゲートが開きます。**二重のセキュリティが必要**です。

### はじめの一步

4月4日付「県立学校における一人一台端末の活用について」の通知が手元に届いた時、正直なところ「**急にそんなことを言われても・・・**」というのが本音でした。そこで今回、学習指導課ICT教育推進室に依頼をして、中間考査期間中に**職員研修を実施**しました。案の定、**Android端末の接続がうまくいかず**、全体の足並みは揃いませんでしたが、**この研修によって「得意な人がやる」のではなく、全職員が当事者意識をもち一歩踏み出す動きを作れた**のではないかと思います。今後は、生徒のスマートフォンの接続、そして貸し出し用のタブレット端末の活用実践を重ね、令和5年度に備えたいと考えています。



千葉県立姉崎高等学校  
加瀬 直人 校長